SONY

2-549-747-**01** (1)

# サラウンドマイクロホン
# *Surround Microphone*

取扱説明書/Operating Instructions/Mode d'emploi/Bedienungsanleitung/Manual de instrucciones/Gebruiksaanwijzing/Bruksanvisning/Istruzioni per l'uso/Manual de instruções/ Руководство по использованию /使用説明書 /使用说明书 / 작동 지침서/تعليمات التشغيل

## *ECM-HQP1*

©2005 Sony Corporation Printed in Japan

お買い上げいただきありがとうございます。

**⚠警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Active InterfaceShoe

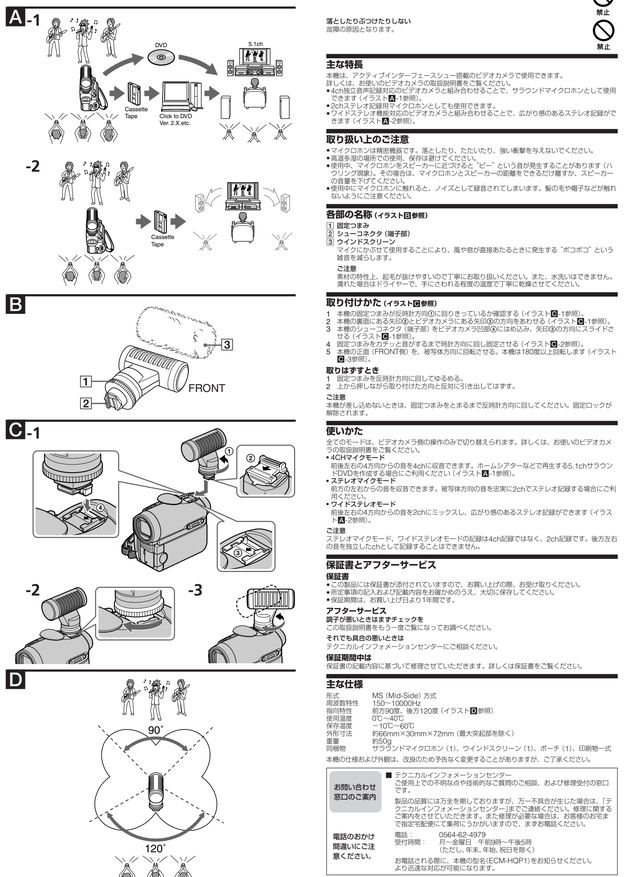
このマークの商品は、ソニー（株）のビデオ機器のアクティブインターフェースシューシステムに対応しています。このシステムを搭載したビデオ機器とアクセサリーを組み合わせることにより、目的に合わせた効果的な撮影が簡単に行えます。

http://www.sony.net/

eco info

この説明書は100%古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed on 100% recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.




## 日本語

### ⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがある危険です。事故を防ぐために次のことを必ずおりください。

- **安全のための注意事項を守る**
  この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- **故障したら使わない**
  動作がおかしくなったり、コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。
- **万一、異常が起きたら**

| | |
|---|---|
| 変な音・においがしたら、煙が出たら | ① ビデオカメラから取りはずす<br>② お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する |

**警告表示の意味**

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。 |
| ⚠注意 | この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。 |

| 注意を促す記号 | | 行為を禁止する記号 | |
|---|---|---|---|
| 火災 | 感電 | 禁止 | 分解禁止 |

**⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。**

火災 感電

**内部に水や異物を入れない**

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに相談ください。

禁止

**⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。**

**内部を触けない**

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

分解禁止

**湿気やほこりの多い場所や直射日光のあたる場所には置かない**

故障の原因となります。

禁止

**落としたりぶつけたりしない**

故障の原因となります。

禁止

### 主な特長

本機は、アクティブインターフェースシュー搭載のビデオカメラで使用できます。

詳しくは、お使いのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

- 4ch及び音声記録対応のビデオカメラと組み合わせることで、サラウンドマイクロホンとして使用できます（イラスト A-1参照）。
- 2chステレオ記録対応ビデオカメラとしても使用できます。
  ワイドステレオ機能対応のビデオカメラと組み合わせることで、広がり感のあるステレオ記録ができます（イラスト A-2参照）。

### 取り扱い上のご注意

- マイクロホンは精密機器です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えないでください。
- 直接多量の雨滴下の使用、保存は避けてください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると“ピー”という音が発生することがあります（ハウリング現象）。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 使用中にマイクロホンに触れると、ノイズとして録音されてしまいます。髪の毛や帽子などが触れないようにご注意ください。

### 各部の名称（イラスト B参照）

1 **固定つまみ**
2 **シューコネクタ（端子部）**
3 **ウインドスクリーン**
マイクにかぶせて使用することにより、風や息が直接あたるときに発生する“ポコポコ”という雑音を減らします。

**ご注意**
素材が特殊上、起毛が抜けやすいので丁寧にお取り扱いください。また、水洗いはできません。濡れた場合はドライヤーで、手にあたる程度の温度で丁寧に乾燥させてください。

### 取り付けかた（イラスト B参照）

1 本機の固定つまみが反時計方向(O)に回りきっているか確認する（イラスト B-1参照）。
2 本機の裏面にある矢印(O)とビデオカメラの矢印(O)を合わせる（イラスト B-1参照）。
3 本機のシューコネクタ（端子部）をビデオカメラの固定(O)にはめ込み、矢印(O)の方向にスライドさせる（イラスト B-2参照）。
4 固定つまみを力ードと当たるまで時計方向に回し固定させる（イラスト B-2参照）。
5 本機の正面（FRONT側）を、被写体方向に回転させる。本機は180度以上回転します（イラスト B-3参照）。

### 取りはずすとき

1 固定つまみを反時計方向に回してゆるめる。
2 上から押しながら取り付けた方向と反対に引き出してします。

**ご注意**
本機が重く込ゆないときは、固定つまみをとまるまで反時計方向に回してください。固定ロックが解除されます。

### 使いかた

全てのモードは、ビデオカメラ側の操作のみで切り替えられます。詳しくは、お使いのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

- **4CHマイクモード**
  前後左右の4方向からの音をch.に収音できます。ホームシアターなどで再生する5.1chサラウンドDVDを作成する場合にご利用ください（イラスト A-1参照）。
- **ステレオマイクモード**
  前方の左右から方向を収音できます。被写体方向の音を忠実にch.2chステレオ記録する場合にご利用ください。
- **ワイドステレオモード**
  前後左右の4方向からの音を2chにミックスし、広がり感のあるステレオ記録ができます（イラスト A-2参照）。

**ご注意**
ステレオマイクモード、ワイドステレオモードの記録は4ch記録ではなく、2ch記録です。後方左右の音を独立した2chとして記録することはできません。

### 保証書とアフターサービス

**保証書**
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

**アフターサービス**
**調子が悪いときはまずチェックを**
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

**それでも具合の悪いときは**
テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

**保証期間中は**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 主な仕様

| | |
|---|---|
| 形式 | MS (Mid-Side) 方式 |
| 周波数特性 | 50～10000Hz |
| 指向特性 | 前方90度、後方120度（イラスト D参照） |
| 使用温度 | 0℃～40℃ |
| 保存温度 | −10℃～60℃ |
| 外形寸法 | 約66mm×30mm×72mm（最大突起部を除く） |
| 重量 | 約55g |
| 同梱物 | サラウンドマイクロホン（1）、ウインドスクリーン（1）、ポーチ（1）、印刷物一式 |

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

**お問い合わせ窓口のご案内**

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、ますお電話ください。

**電話のおかけ間違いにご注意ください。**

電話 0564-62-4979
受付時間： 月～金曜日 午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される際に、本機の型名(ECM-HQP1)をお知らせください。
よりお速な対応が可能になります。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

## English

Before operating this unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

### Features

This microphone is designed to be used with a camcorder equipped with the Active Interface Shoe. For details, refer to the operating instructions of your camcorder.

- With a discrete 4ch audio recording compliant camcorder, this microphone works as a surround microphone (see illustration A-1).
- This microphone can also be used as a 2ch stereo microphone.
- With a camcorder compliant with the wide stereo recording function, stereo sound recording with more depth can be achieved (see illustration A-2).

### Precautions

- The microphone is very sensitive. Do not drop, knock, or subject it to excessive shock.
- Keep the microphone away from extremely high temperatures and humidity.
- If the microphone is placed near speakers, a howling effect (acoustic feedback) may occur. If this happens, place the microphone farther away from the speakers, or lower the volume of the speaker.
- If you touch the microphone during recording, noise will be recorded. Be careful not to touch the microphone, especially with your hair, head attire, etc.

### Identifying the parts (see illustration B)

1 **Lock knob**

2 **Shoe connector (terminal)**

3 **Wind screen**
Place on the microphone to reduce wind or breath/pop noise.

**Note**
Handle the wind screen carefully as the synthetic fur material is quite fragile. Do not wash the wind screen in water. If the wind screen gets wet, dry it carefully using a blow dryer set to medium heat (air flow should be warm on your hand, not hot).

### Attaching the microphone (see illustration B)

1 Ensure that the lock knob of the microphone is turned fully counterclockwise (O) (see illustration B-1).
2 Orient the arrow on the bottom of the microphone (O) to the arrow on your camcorder (O) (see illustration B-1).
3 Insert the shoe connector (terminal) of the microphone into the slot (O) on your camcorder, and then slide the microphone in the direction of the arrow (O) (see illustration B-2).
4 Turn the lock knob clockwise until it clicks (see illustration B-2).
5 Point the front of the microphone toward the subject. The microphone can be rotated more than 180 degrees (see illustration B-3).

### To detach the microphone

1 Loosen the lock knob counterclockwise.
2 Press down the microphone and slide it in the opposite direction when attaching.

### Using the microphone

The available modes can be switched only on the camcorder. For details, refer to the operating instructions of your camcorder.

- **4CH MIC mode**
  Picks up sounds from front left, front right, rear left, and rear right as four channels. This mode is useful for creating 5.1ch surround DVDs played back on a home theater system (see illustration A-1).
- **STEREO MIC mode**
  Picks up sound from front left and right. Use this mode when you want to target the sound of a subject faithfully in two channels.
- **WIDE STEREO SOUND RECORDING mode**
  Picks up sounds from front left, front right, rear left, and rear right and mixes them down to 2ch. Stereo sound with more depth is attained (see illustration A-2).

**Note**
Sounds recorded in the STEREO MIC mode and WIDE STEREO SOUND RECORDING mode are 2ch audio, not 4ch audio. Rear left and right sound cannot be recorded as discrete channels.

### Specifications

| | |
|---|---|
| Type | MS (Mid-Side) stereo system |
| Frequency response | 150 - 10,000 Hz |
| Pick up pattern | front 90°, rear 120° (see illustration D) |
| Operating temperature | 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F) |
| Storage temperature | −10 °C to 60 °C (14 °F to 140 °F) |
| Dimensions | Approx. 66 mm × 30 mm × 72 mm (1 5/16 × 3 × 2 5/8 inches) (excluding projecting parts) |
| Mass | Approx. 50 g (1.8 oz) |
| Included items | Surround microphone (1), Wind screen (1), Carrying pouch (1), Set of printed documentation |

Design and specifications are subject to change without notice.

Active InterfaceShoe

This mark indicates the Active Interface Shoe System for use with Sony video products. Video components and accessories equipped with this system are designed to make effective recording simple.

## Français

Avant d'utiliser cet appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et conservez-le pour toute référence ultérieure.

### Caractéristiques

Ce microphone peut être utilisé avec un caméscope doté d'une griffe Active Interface Shoe. Pour plus de détails, reportez-vous aux mode d'emploi de votre caméscope.

- Lorsqu'il est utilisé avec un caméscope compatible avec les enregistrements audio 4 canaux discrets, ce microphone fonctionne comme un microphone d'ambiance (voir l'illustration A-1).
- Ce microphone peut également être utilisé comme microphone stéréo 2 canaux.
- Lorsqu'il est installé sur un caméscope compatible avec la fonction d'enregistrement stéréo large, vous obtiendrez un enregistrement sonore stéréo plus profond (voir l'illustration A-2).

### Précautions

- Le microphone est conçu pour être fragile. Ne le laissez pas tomber, ne le cognez pas et ne le soumettez pas à un choc violent.
- N'exposez pas le microphone à des températures extrêmement élevées et à l'humidité.
- Si le microphone se trouve à proximité de haut-parleurs, un effet Larsen (rétroaction acoustique) peut se produire. Dans ce cas, éloignez le microphone des haut-parleurs ou diminuez le volume des haut-parleurs.
- Si vous touchez le microphone pendant un enregistrement, des parasites risquent d'être enregistrés. Veillez à ne pas toucher le microphone, par exemple avec les cheveux, un chapeau ou accessoire pour cheveux, etc.

### Identification des pièces (voir l'illustration B)

1 **Bouton de verrouillage**

2 **Connecteur de la griffe (borne)**

3 **Bonnette anti-vent**
Placez-la sur le microphone pour réduire le bruit du vent ou de la respiration et le bruit de l'éjection.

**Remarque**
Manipulez la bonnette anti-vent avec précaution car la fourrure synthétique est relativement fragile. Ne lavez pas la bonnette anti-vent à l'eau. Si elle est mouillée, séchez-la soigneusement avec un sèche-cheveux diffusant une chaleur moyenne (le flux d'air sur votre main doit être chaud et non brûlant).

### Fixation du microphone (voir l'illustration B)

1 Vérifiez que le bouton de verrouillage du microphone est complètement tourné dans le sens anti-horaire (O) (voir l'illustration B-1).
2 Orientez la flèche située sous le microphone (O) vers la flèche du caméscope (O) (voir l'illustration B-1).
3 Insérez le connecteur (la borne) de la griffe du microphone dans la fente (O) de votre caméscope, puis faites glisser le microphone dans le sens de la flèche (O) (voir l'illustration B-1).
4 Tournez le bouton de verrouillage dans le sens horaire, jusqu'à ce que vous entendiez un déclic (voir l'illustration B-2).
5 Orientez l'avant du microphone vers le sujet. Vous pouvez faire pivoter le microphone à plus de 180 degrés (voir l'illustration B-3).

### Pour retirer le microphone

1 Desserrez le bouton de verrouillage en le tournant dans le sens anti-horaire.
2 Appuyez sur le microphone et faites-le glisser dans le sens inverse de celui de sa mise en place.

**Remarque**
S'il est difficile de mettre le microphone en place, tournez le bouton de verrouillage dans le sens anti-horaire, jusqu'à la butée. Il sera déverrouillé.

### Utilisation du microphone

Les modes disponibles peuvent uniquement être commutés sur le caméscope. Pour plus de détails, reportez-vous aux mode d'emploi de votre caméscope.

- **Mode 4CH MIC**
  Perçoit les sons 4 canaux (avant gauche, avant droit, arrière gauche et arrière droit). Ce mode est pratique pour créer un DVD surround 5.1 canaux lu sur un système Home Theater (voir l'illustration A-1).
- **Mode STEREO MIC**
  Perçoit les sons des canaux avant gauche et droit. Utilisez ce mode si vous souhaitez cibler le son d'un sujet fidèlement sur deux canaux.
- **Mode WIDE STEREO SOUND RECORDING**
  Perçoit les sons canaux avant gauche, avant droit, arrière gauche et arrière droit et les mélange pour revenir à 2 canaux. Ceci permet d'obtenir des sons stéréo plus profonds (voir l'illustration A-2).

**Remarque**
Les sons enregistrés en mode STEREO MIC et WIDE STEREO SOUND RECORDING sont des signaux audio 2 canaux et non des signaux audio 4 canaux. Les sons arrière gauche et arrière droit ne peuvent pas être enregistrés comme des canaux discrets.

### Spécifications

| | |
|---|---|
| Type | Système stéréo MS (Mid-Side) |
| Réponse en fréquence | 150 à 10 000 Hz |
| Configuration de réception des canaux | avant 90°, arrière 120° (voir l'illustration D) |
| Température de fonctionnement | 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F) |
| Température de stockage | − 10 °C à 60 °C (14 °F à 140 °F) |
| Dimensions | environ 66 mm × 30 mm × 72 mm (1 5/16 × 3 × 2 5/8 po.) (parties saillantes non comprises) |
| Poids | environ 50 g (1,8 on.) |
| Articles inclus | Microphone d'ambiance (1), bonnette anti-vent (1), étui de transport (1), jeu de documents imprimés |

La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Active InterfaceShoe

Ce label indique le système de griffe Active Interface Shoe conçu pour les produits vidéo Sony. Les composants vidéo et accessoires dotés de ce système permettent une prise de vue simple et efficace.

## Deutsch

Lesen Sie diese Anleitung vor Inbetriebnahme des Geräts bitte genau durch und bewahren Sie sie zum späteren Nachschlagen sorgfältig auf.

### Merkmale und Funktionen

Dieses Mikrofon wurde für die Verwendung mit einem Camcorder mit Active Interface Shoe konzipiert. Weitere Erläuterungen finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Camcorder.

- Bei einem Camcorder, der die Tonaufnahme mit 4 getrennten Kanälen unterstützt, dient dieses Mikrofon als Raumklangmikrofon (siehe Abbildung A-1).
- Dieses Mikrofon kann auch als 2-Kanal-Stereomikrofon eingesetzt werden.
- Bei einem Camcorder, der die Aufnahmefunktion Stereo-Breit unterstützt, lassen sich Stereoaufnahmen mit breitem Klangraum erzielen (siehe Abbildung A-2).

### Sicherheitsmaßnahmen

- Das Mikrofon ist sehr empfindlich. Lassen Sie es nicht fallen und setzen Sie es keinen heftigen Stößen aus.
- Schützen Sie das Mikrofon vor extrem hohen Temperaturen und Feuchtigkeit.
- N'exposez pas le microphone à des températures extrêmement élevées et à l'humidité.
- Si le microphone se trouve à proximité de haut-parleurs, un effet Larsen (rétroaction acoustique) peut se produire. Dans ce cas, éloignez le microphone des haut-parleurs ou diminuez le volume des haut-parleurs.
- Si vous touchez le microphone pendant un enregistrement, des parasites risquent d'être enregistrés. Veillez à ne pas toucher le microphone, par exemple avec les cheveux, un chapeau ou accessoire pour cheveux, etc.

### Identifizierung der Teile und Bedienelemente (siehe Abbildung B)

1 **Sperrknopf**

2 **Schuhanschluss**

3 **Windschutz**
Zum Anbringen am Mikrofon, um Wind- oder Atemgeräusche usw. zu verringern.

**Hinweis**
Behandeln Sie den Windschutz mit Sorgfalt, da das Kunstfaserfell recht empfindlich ist. Waschen Sie den Windschutz nicht mit Wasser. Wenn der Windschutz nass geworden ist, trocknen Sie ihn sorgfältig mit einem Föhn auf mittlerer Heizstufe. Der Luftstrom sollte auf der Haut warm, aber nicht heiß zu spüren sein.

### Anbringen des Mikrofons (siehe Abbildung B)

1 Vergewissern Sie sich, dass der Sperrknopf am Mikrofon ganz gegen den Uhrzeigersinn gedreht ist (O (siehe Abbildung B-1).
2 Richten Sie den Pfeil an der Unterseite des Mikrofons (O an dem Pfeil am Camcorder (O aus (siehe Abbildung B-1).
3 Setzen Sie den Schuhanschluss des Mikrofons in den Schlitz (O am Camcorder ein und schieben Sie das Mikrofon in Richtung des Pfeils (O (siehe Abbildung B-1).
4 Drehen Sie den Sperrknopf im Uhrzeigersinn, bis er mit einem Klicken einrastet (siehe Abbildung B-2).
5 Richten Sie die Vorderseite des Mikrofons auf das Motiv. Das Mikrofon lässt sich um mehr als 180 Grad drehen (siehe Abbildung B-3).

### So nehmen Sie das Mikrofon ab

1 Lösen Sie den Sperrknopf gegen den Uhrzeigersinn.
2 Drücken Sie das Mikrofon nach unten und schieben Sie es in entgegengesetzter Richtung wie beim Anbringen.

**Hinweis**
Wenn sich das Mikrofon nur schwer anbringen lässt, drehen Sie den Sperrknopf bis zum Anschlag gegen den Uhrzeigersinn. Damit wird die Sperre aufgehoben.

### Gebrauch des Mikrofons

Die verfügbaren Modi können nur am Camcorder umgeschaltet werden. Weitere Erläuterungen finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Camcorder.

- **Modus 4CH MIC**
  Der Ton wird auf vier Kanälen von vorne links, vorne rechts, hinten links und hinten rechts aufgenommen. Dieser Modus ist nützlich zum Erstellen von 5.1-Kanal-Raumklang-DVDs für die Wiedergabe auf einem Heimkinosystem (siehe Abbildung A-1).
- **Modus STEREO MIC**
  Der Ton wird von vorne links und vorne rechts aufgenommen. Verwenden Sie diesen Modus, wenn der Ton von einem Motiv richtungsgetreu auf zwei Kanäle verteilt werden soll.
- **Modus WIDE STEREO SOUND RECORDING**
  Der Ton wird von vorne links, vorne rechts, hinten links und hinten rechts aufgenommen und 2 Kanäle heruntergemischt. Damit erhalten Sie Stereoklang mit stärkerer Tiefenwirkung (siehe Abbildung A-2).

**Hinweis**
Bei Ton, der im Modus STEREO MIC oder WIDE STEREO SOUND RECORDING aufgenommen wird, handelt es sich um 2-Kanal-Ton und nicht um 4-Kanal-Ton. Ton von hinten links und hinten rechts kann nicht in getrennten Kanälen aufgezeichnet werden.

### Technische Daten

| | |
|---|---|
| Typ | MS-Stereosystem (Mitte-Seite) |
| Frequenzgang | 150 - 10.000 Hz |
| Richtcharakteristik | vorne 90°, hinten 120° (siehe Abbildung D) |
| Betriebstemperatur | 0 °C bis 40 °C |
| Lagertemperatur | −10 °C bis 60 °C |
| Abmessungen | ca. 66 mm × 30 mm × 72 mm (ohne vorstehende Teile) |
| Gewicht | ca. 50 g |
| Mitgeliefertes Zubehör | Raumklangmikrofon (1), Windschutz (1), Tragebeutel (1), Anleitungen |

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Active InterfaceShoe

Dieses Logo kennzeichnet das Active Interface Shoe-System für Videoprodukte von Sony. Mit diesem System ausgestattete Videogeräte und Zubehörteile machen effektive Aufnahmen denkbar einfach.

## Español

Antes de utilizar esta unidad, lea este manual atentamente y consérvelo para consultarlo en el futuro.

Nombre del producto: Micrófono de sonido envolvente
Modelo: ECM-HQP1

POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR ESTE EQUIPO.

RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

### Características

Este micrófono está diseñado para utilizarlo con una videocámara equipada con Active Interface Shoe. Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones de la videocámara.

- Si se utiliza con una videocámara compatible con la grabación de audio de 4 canales independientes, el micrófono funciona como un micrófono de sonido envolvente (consulte la figura A-1).
- También puede utilizarse como un micrófono estéreo de 2 canales.
- Si lo utiliza con una videocámara compatible con la función de grabación WIDE STEREO, obtendrá grabaciones de sonido estéreo de mayor profundidad (consulte la figura A-2).

### Precauciones

- El micrófono es muy sensible. No lo deje caer ni lo golpee o exponga a impactos fuertes.
- Mantenga el micrófono alejado de lugares con humedad y temperaturas muy altas.
- Es posible que se produzca un efecto de zumbido (reacción acústica) si coloca el micrófono de altavoces. En tal caso, aléjelo de los altavoces o baje el volumen del altavoz.
- Si toca el micrófono durante la grabación, se grabará un ruido. Procure no tocar el micrófono, en especial con el pelo o atuendos de la cabeza, entre otros.

### Identificación de los componentes (consulte la figura B)

1 **Mando de bloqueo**

2 **Conector de la zapata (terminal)**

3 **Espuma protectora**
Colóquela en el micrófono para atenuar los ruidos provocados por el viento o la respiración.

**Nota**
Manipule la espuma protectora con cuidado, ya que el material de piel sintética es bastante frágil. No lave la espuma protectora con agua. Si la espuma protectora se moja, séquela con cuidado utilizando un secador de pelo a temperatura media (debe notar en su mano el aire templado, no caliente).

### Colocación del micrófono (consulte la figura B)

1 Asegúrese de que el mando de bloqueo del micrófono esté girado completamente hacia la izquierda (O (consulte la figura B-1).
2 Oriente la flecha de la parte inferior del micrófono (O hacia la flecha de la videocámara (O (consulte la figura B-1).
3 Inserte el conector de la zapata (terminal) del micrófono en la ranura (O de la videocámara y, a continuación, deslice el micrófono en el sentido de la flecha (O (consulte la figura B-1).
4 Gire el mando de bloqueo hacia la derecha hasta que oiga un clic (consulte la figura B-2).
5 Apunte la parte frontal del micrófono hacia el motivo. El micrófono puede girarse más de 180 grados (consulte la figura B-3).

### Para retirar el micrófono

1 Gire el mando de bloqueo hacia la izquierda para aflojarlo.
2 Presione el micrófono hacia abajo y deslícelo en la dirección opuesta a la que siguió para colocarlo.

**Nota**
Si le resulta difícil colocar el micrófono, gire el mando de bloqueo hacia la izquierda hasta que se detenga. El mando se desbloqueará.

### Utilización del micrófono

Podrá alternar entre los modos disponibles sólo desde la videocámara. Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones de la videocámara.

- **Modo 4CH MIC**
  Capta los sonidos de las partes frontal izquierda, frontal derecha, posterior izquierda y posterior derecha como cuatro canales distintos. Este modo resulta útil para crear discos DVD con sonido envolvente de 5.1 canales que se vayan a reproducir en un sistema de sala de cine doméstica (consulte la figura A-1).
- **Modo STEREO MIC**
  Capta el sonido de las partes frontales derecha e izquierda. Utilice este modo cuando desee captar con gran fidelidad el sonido de un motivo en dos canales.
- **Modo de grabación de sonido WIDE STEREO**
  Capta los sonidos de las partes frontal izquierda, frontal derecha, posterior izquierda y posterior derecha y los mezcla en 2 canales. Obtendrá un sonido estéreo de mayor profundidad (consulte la figura A-2).

**Nota**
Los sonidos grabados con los modos STEREO MIC y WIDE STEREO se emitirán como audio de 2 canales, no de 4. El sonido de las partes posteriores derecha e izquierda no se puede grabar como canales independientes.

### Especificaciones

| | |
|---|---|
| Tipo | Sistema estéreo MS (medio-lateral) |
| Respuesta de frecuencia | De 150 a 10 000 Hz |
| Patrón de captación de sonido | Frontal de 90°, posterior de 120° (consulte la figura D) |
| Temperatura de funcionamiento | De 0 °C a 40 °C |
| Temperatura de almacenamiento | De −10 °C a 60 °C |
| Dimensiones | 66 mm × 30 mm × 72 mm aproximadamente (excluyendo partes salientes) |
| Peso | 50 g aproximadamente |
| Elementos incluidos | Micrófono de sonido envolvente (1), espuma protectora (1), funda de transporte (1), juego de documentación impresa |

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

Active InterfaceShoe

Esta marca indica el sistema Active Interface Shoe, que deberá utilizarse con productos de vídeo Sony. Los componentes y los accesorios de vídeo provistos de este sistema se han diseñado para facilitar la grabación efectiva.

## Nederlands

Voordat u het apparaat gebruikt, moet u deze gebruiksaanwijzing aandachtig doorlezen. Bewaar de gebruiksaanwijzing voor het geval u deze later als referentiemateriaal nodig hebt.

### Kenmerken

Deze microfoon is geschikt voor een camcorder met de Active Interface Shoe. Raadpleeg de gebruiksaanwijzing bij de camcorder voor meer informatie.

- Deze microfoon werkt als surroundmicrofoon als u deze gebruikt met een camcorder die geschikt is voor het opnemen van geluid met 4 afzonderlijke kanalen (zie afbeelding A-1).
- Deze microfoon kan ook worden gebruikt als een 2-kanaals stereomicrofoon.
- Als u een camcorder gebruikt die geschikt is voor het opnemen van een breed stereogeluidsveld, kunt u stereogeluid met meer diepte opnemen (zie afbeelding A-2).

### Voorzorgsmaatregelen

- De microfoon is erg gevoelig. Laat de microfoon niet vallen, sla er niet tegen aan en stel deze niet bloot aan erge schokken.
- Houd de microfoon uit de buurt van zeer hoge temperaturen en luchtvochtigheid.
- Als de microfoon in de buurt van luidsprekers wordt geplaatst, kunt u een fluitende toon (akoestische feedback) horen. Als dit gebeurt, plaatst u de microfoon verder bij de luidsprekers vandaan of verlaagt u het volume van de luidsprekers.
- Als u de microfoon aanraakt tijdens de opname, wordt er ruis opgenomen. Wees voorzichtig dat u de microfoon niet aanraakt, vooral met uw haar, een hoed, enzovoort.

### Namen en functies van onderdelen (zie afbeelding B)

1 **Borgschroef**

2 **Schoenaansluiting**

3 **Windkap**
Plaats de windkap op de microfoon om ruis door wind of ademhaling te beperken.

**Opmerking**
Wees voorzichtig met de windkap, omdat de synthetische vacht erg kwetsbaar is. Maak de windkap niet schoon met water. Als de windkap nat wordt, moet u deze goed drogen met een haardroger die is ingesteld op een gemiddelde warmte (de luchtstroom moet warm zijn op uw hand, maar niet heet).

### De microfoon bevestigen (zie afbeelding B)

1 Zorg dat de borgschroef van de microfoon volledig linksom is gedraaid (O (zie afbeelding B-1).
2 Lijn de pijl aan de onderkant van de microfoon (O uit met de pijl op de camcorder (O (zie afbeelding B-1).
3 Plaats de schoenaansluiting van de microfoon in de sleuf (O van de camcorder en schuif de microfoon in de richting van de pijl (O (zie afbeelding B-1).
4 Draai de borgschroef rechtsom tot deze vastklikt (zie afbeelding B-2).
5 Richt de voorkant van de microfoon naar het onderwerp. De microfoon kan meer dan 180 graden worden gedraaid (zie afbeelding B-3).

### De microfoon verwijderen

1 Draai de borgschroef linksom los.
2 Druk op de microfoon en schuif deze in de tegenovergestelde richting als wanneer u de microfoon bevestigt.

**Opmerking**
Als het moeilijk is de microfoon te bevestigen, draait u de borgschroef zo ver mogelijk linksom. De borgschroef wordt ontgrendeld.

### De microfoon gebruiken

De beschikbare standen kunnen alleen worden gewijzigd op de camcorder. Raadpleeg de gebruiksaanwijzing bij de camcorder voor meer informatie.

- **4CH MIC stand**
  Hiermee wordt het geluid linksvoor, rechtsvoor, linksachter en rechtsachter opgenomen als vier kanalen. Deze stand is handig voor het maken van 5.1-kanaals DVD's met surroundgeluid die u wilt afspelen op een thuisbioscoop (zie afbeelding A-1).
- **STEREO MIC stand**
  Hiermee wordt het geluid linksvoor en rechtsvoor opgenomen. Gebruik deze stand als u het geluid van een onderwerp natuurgetrouw en gericht wilt opnemen met twee kanalen.
- **WIDE STEREO SOUND RECORDING stand**
  Hiermee wordt het geluid linksvoor, rechtsvoor, linksachter en rechtsachter opgenomen en gereduceerd tot 2 kanalen. Zo verkrijgt u stereogeluid met meer diepte (zie afbeelding A-2).

**Opmerking**
Geluid dat in de STEREO MIC stand en WIDE STEREO SOUND RECORDING stand wordt opgenomen, is 2-kanaals geluid en niet 4-kanaals geluid. Het geluid van linksachter en rechtsachter kan niet als afzonderlijke kanalen worden opgenomen.

### Technische gegevens

| | |
|---|---|
| Type | MS (Mid-Side) stereosysteem |
| Frequentiebereik | 150 - 10.000 Hz |
| Geluidsopnamepatroon | voor 90°, achter 120° (zie afbeelding D) |
| Werkingstemperatuur | 0 °C tot 40 °C |
| Opslagtemperatuur | −10 °C tot 60 °C |
| Afmetingen | Ongeveer 66 mm × 30 mm × 72 mm (exclusief uitstekende delen) |
| Gewicht | Ongeveer 50 g |
| Bijgeleverd toebehoren | Surroundmicrofoon (1), Windkap (1), Draagtas (1), Handleiding en documentatie |

Wijzigingen in ontwerp en technische gegevens voorbehouden zonder voorafgaande kennisgeving.

Active InterfaceShoe

Dit teken duidt het systeem Active Interface Shoe aan dat wordt gebruikt voor Sony-videoproducten. Videocomponenten en accessoires die zijn uitgerust met dit systeem, zijn ontworpen om effectief opnemen te vereenvoudigen.

## Svenska

Innan du använder enheten bör du läsa igenom bruksanvisningen. Spara den – du kan behöva den igen.

### Funktioner

Den här mikrofonen är avsedd att användas med videokameror med aktiv tillbehörssko. Mer information finns i bruksanvisningen till videokameran.

- Med en videokamera som kan hantera separat 4-kanaligt ljud fungerar den här mikrofonen som en surroundmikrofon (se ill. A-1).
- Den här mikrofonen kan också användas som 2-kanalig stereomikrofon.
- Med en videokamera som kan hantera en bred stereoljudbild (wide stereo) kan du få stereoinspelningar med mer djup (se ill. A-2).

### Försiktighetsåtgärder

- Mikrofonen är mycket känslig. Tappa den inte, knacka inte på den och utsätt den inte för stötar.
- Utsätt inte mikrofonen för extremt höga temperaturer eller hög fuktighet.
- Om mikrofonen placeras nära högtalare kan ihland ett ylande ljud uppstå (akustisk rundgång). Om du råkar ut för det här flyttar du mikrofonen längre bort från högtalarna. Du kan också pröva att sänka ljudet från högtalarna.
- Om du rör mikrofonen under inspelning kommer du att få med störande ljud i inspelningen. Se till så att du inte kommer åt mikrofonen. Se särskilt upp med håret, huvudbonader och liknande.

### Identifiering av delar och kontroller (se ill. B)

1 **Låsratt**

2 **Anslutning för tillbehörssko (terminal)**

3 **Puffskydd**
Sätt puffskyddet på mikrofonen om du vill minska ljudet från blästen eller det andningsljud/pufffljud som kan uppstå när man pratar.

**Obs!**
Hantera puffskyddet varsamt eftersom det syntetiska pälsmaterialet är ganska ömtåligt. Tvätta inte puffskyddet med vatten. Om puffskyddet skulle bli vått torkar du det försiktigt med en hårtork ställd på medelvärme (luften ska känns varm, men inte het när du känner efter med handen).

### Sätt fast mikrofonen (se ill. B)

1 Se till att låsratten på mikrofonen är vriden moturs helt och hållet (O (se ill. B-1).
2 Passa in pilen på undersidan av mikrofonen (O mot pilen på videokameran (O (se ill. B-1).
3 Sätt mikrofonens anslutning för tillbehörssko (terminal) i kontakten (O på videokameran. Skjut sedan mikrofonen i pilens riktning (O (se ill. B-1).
4 Vrid låsratten medurs tills du hör ett klick (se ill. B-2).
5 Rikta mikrofonens framsida mot motivet. Mikrofonen kan vridas mer än 180 grader (se ill. B-3).

### Ta bort mikrofonen

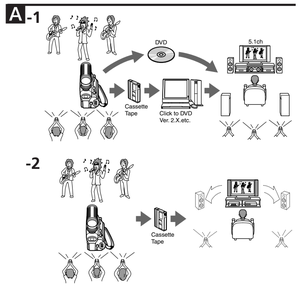
1 Lossa låsratten genom att vrida den moturs.
2 Ta bort mikrofonen genom att trycka den nedåt och skjuta den i motsatt riktning mot när du satte fast den.

**Obs!**
Om det är svårt att sätta fast mikrofonen vrider du låsratten moturs så långt det går. Låset öppnas.

### Använda mikrofonen

De tillgängliga lägena kan bara väljas från videokameran. Mer information finns i bruksanvisningen till videokameran.

- **Läget 4CH MIC**
  Spelar in fyra ljudkanaler (främre-vänster, främre-höger, bakre-vänster och bakre-höger) samtidigt. Det här läget använder du om du vill skapa 5.1-kanaliga surround-DVD-skivor för uppspelning i hemmabiosystem (se ill. A-1).
- **Läget STEREO MIC**
  Spelar in ljud från vän




## Italiano

Prima di utilizzare l'apparecchio, leggere attentamente il manuale e conservarlo per eventuali riferimenti futuri.

### Caratteristiche

Questo microfono è stato progettato per essere utilizzato con una videocamera dotata del sistema Active Interface Shoe. Per ulteriori informazioni, consultare le Istruzioni per l'uso della videocamera.

- Se utilizzato con una videocamera compatibile con il modo di registrazione audio a 4 canali separati, questo microfono funziona da microfono surround (vedere la figura **A**-1).
- Il presente microfono può inoltre essere utilizzato come microfono stereo a 2 canali.
- Con una videocamera compatibile con la funzione di registrazione stereo ampia, è possibile ottenere registrazioni audio stereo di qualità superiore (vedere la figura **A**-2).

### Precauzioni

- Il presente microfono è estremamente sensibile. Non lasciarlo cadere, batterlo o sottoporlo a vibrazioni eccessive.
- Non sottoporre il microfono a temperature ed umidità eccessivamente elevate.
- Se il microfono si trova in prossimità di diffusori, è possibile che si verifichino disturbi (feedback). In tal caso, allontanare il microfono dai diffusori oppure abbassare il volume dei diffusori.
- Se durante la registrazione il microfono viene toccato, è possibile che vengano registrati dei disturbi. Prestare attenzione a non toccare il microfono, in particolar modo con i capelli, con cappelli e così via.

### Identificazione delle parti (vedere la figura **B**)

1 **Manopola di bloccaggio**

2 **Connettore dell'attacco (terminale)**

3 **Protezione anti-vento**
Collocare la protezione sul microfono per ridurre i disturbi causati dal vento o dal respiro.

**Nota**
Maneggiare la protezione anti-vento con cura, poiché il materiale sintetico è piuttosto delicato. Non bagnare la protezione anti-vento. Se dovesse bagnarsi, asciugarla con cura utilizzando un asciugacapelli impostato su un valore medio (verificare con la mano che il getto d'aria non sia eccessivamente caldo).

### Collegamento del microfono (vedere la figura **C**)

1 Verificare che la manopola di bloccaggio del microfono sia ruotata completamente in senso antiorario (3) (vedere la figura **C**-1).
2 Allineare la freccia nella parte inferiore del microfono (2) con la freccia presente sulla videocamera (3) (vedere la figura **C**-1).
3 Inserire il connettore dell'attacco (terminale) del microfono nell'alloggiamento (4) sulla videocamera, quindi fare scorrere il microfono in direzione della freccia (4) (vedere la figura **C**-1).
4 Ruotare la manopola di bloccaggio in senso orario fino ad udire uno scatto (vedere la figura **C**-2).
5 Puntare la parte anteriore del microfono in direzione del soggetto. Il microfono può essere ruotato di oltre 180 gradi (vedere la figura **C**-3).

### Per rimuovere il microfono

1 Ruotare la manopola di bloccaggio in senso antiorario per allentarla.
2 Premere il microfono, quindi farlo scorrere nella direzione opposta rispetto al relativo collegamento.

**Nota**
In caso di problemi durante il collegamento del microfono, ruotare la manopola di bloccaggio in senso antiorario fino a quando non si arresta. In questo modo, viene rilasciato il blocco.

### Uso del microfono

I modi selezionabili possono essere attivati solo mediante la videocamera. Per ulteriori informazioni, consultare le Istruzioni per l'uso della videocamera.

- **Modo 4CH MIC**
  Consente di registrare l'audio proveniente dai quattro canali anteriore sinistro, anteriore destro, posteriore sinistro e posteriore destro. Questo modo risulta particolarmente utile per la creazione di DVD surround a 5.1 canali riprodotti mediante un sistema home theater (vedere la figura **A**-1).
- **Modo STEREO MIC**
  Consente di registrare l'audio anteriore sinistro e destro. Utilizzare questo modo se si desidera convogliare in due canali l'audio di un soggetto in modo fedele.
- **Modo WIDE STEREO SOUND RECORDING**
  Consente di registrare l'audio proveniente dai quattro canali anteriore sinistro, anteriore destro, posteriore sinistro e posteriore destro e di smistarli in 2 canali. In questo modo, è possibile ottenere un audio stereo di qualità superiore (vedere la figura **A**-2).

**Nota**
L'audio registrato nei modi STEREO MIC e WIDE STEREO SOUND RECORDING è un audio a 2 canali e non a 4 canali. Non è possibile registrare i suoni posteriori sinistro e destro come canali separati.

### Caratteristiche tecniche

| | |
|---|---|
| Tipo | Sistema stereo MS (Mid-Side) |
| Risposta in frequenza | 150 - 10.000 Hz |
| Modello di pickup | anteriore 90°, posteriore 120° (vedere al figura **D**) |
| Temperatura di utilizzo | da 0 °C a 40 °C |
| Temperatura di deposito | da –10 °C a 60 °C |
| Dimensioni | Circa 66 mm × 30 mm × 72 mm (escluse le parti sporgenti) |
| Peso | Circa 50 g |
| Accessori inclusi | Microfono surround (1), Protezione anti-vento (1), Custodia di trasporto (1), Corredo di documentazione stampata |

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Active Interface Shoe
Questo simbolo indica il sistema Active Interface Shoe System progettato per essere utilizzato con i prodotti video Sony. Gli apparecchi video e gli accessori dotati di questo sistema sono stati appositamente ideati per semplificare la realizzazione di registrazioni di qualità.

## Português

Antes de utilizar este aparelho, leia este manual até ao fim e guarde-o para consultas futuras.

### Características

Pode montar este microfone numa câmara de vídeo com a Active Interface Shoe. Para obter mais informações, consulte o manual de instruções da câmara de vídeo.

- Quando utilizado com uma câmara de vídeo que permite fazer gravações com som de 4 canais discretos, este microfone funciona como microfone de surround (consulte a ilustração **A**-1).
- Este microfone também pode ser utilizado como microfone estéreo de 2 canais.
- Quando utilizado com uma câmara de vídeo compatível com a função de gravação estéreo alargado, pode fazer gravações de som estéreo com mais intensidade (consulte a ilustração **A**-2).

### Precauções

- O microfone é muito sensível. Não o deixe cair nem o sujeite a choques excessivos.
- Não use o microfone em locais muito húmidos e com temperaturas extremamente elevadas.
- Se colocar o microfone perto de altifalantes, pode ouvir um som agudo (feedback acústico). Se isso acontecer, afaste o microfone o máximo possível dos altifalantes ou baixe o volume destes últimos.
- Se tocar no microfone durante a gravação, o ruído fica gravado. Cuidado para não tocar no microfone, especialmente com o cabelo, acessórios para o cabelo, etc.

### Identificar as peças (consulte a ilustração **B**)

1 **Botão de bloqueio**

2 **Conector (terminal) da base**

3 **Protecção contra o vento**
Coloque-a sobre o microfone de maneira a reduzir o ruído do vento e da respiração.

**Nota**
Pegue na protecção contra o vento com cuidado, pois a pele sintética é bastante frágil. Não lave a protecção contra o vento com água. Se a protecção contra o vento se molhar, seque-a com cuidado com um secador regulado num modo (o ar deve ser quente, mas sem queimar).

### Montar o microfone (consulte a ilustração **C**)

1 Rode totalmente o botão de bloqueio do microfone no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio (3) (consulte a ilustração **C**-1).
2 Junte a seta existente na parte inferior do microfone (2) à seta existente na câmara de vídeo (3) (consulte a ilustração **C**-1).
3 Introduza o conector (terminal) da base do microfone na ranhura (4) da câmara de vídeo e faça deslizar o microfone na direcção indicada pela seta (4) (consulte a ilustração **C**-1).
4 Rode o botão de bloqueio no sentido dos ponteiros do relógio até ouvir um estalido (consulte a ilustração **C**-2).
5 Aponte a parte da frente do microfone para o motivo. É possível rodar o microfone a mais de 180 graus (consulte a ilustração **C**-3).

### Para desmontar o microfone

1 Desaperte o botão de bloqueio no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio.
2 Faça pressão no microfone e faça-o deslizar na direcção oposta à montagem.

**Nota**
Se tiver dificuldades em montar o microfone, rode totalmente o botão de bloqueio no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio. Deste modo, cancela o bloqueio.

### Utilizar o microfone

Só pode mudar os modos disponíveis na câmara de vídeo. Para obter mais informações, consulte o manual de instruções da câmara de vídeo.

- **Modo 4CH MIC**
  Capta os sons de quatro canais: frontal esquerdo, frontal direito, posterior esquerdo e posterior direito. Este modo é útil para criar DVDs com som surround de 5.1 canais reproduzidos num sistema de cinema em casa (consulte a ilustração **A**-1).
- **Modo STEREO MIC**
  Capta o som dos canais frontais esquerdo e direito. Utilize este modo quando quiser reproduzir fielmente o som de um motivo em dois canais.
- **Modo WIDE STEREO SOUND RECORDING**
  Capta os sons dos canais frontal esquerdo, frontal direito, posterior esquerdo e posterior direito, e mistura-os em 2 canais. Obtém um som estéreo com mais intensidade (consulte a ilustração **A**-2).

**Nota**
Os sons gravados nos modos STEREO MIC e WIDE STEREO SOUND RECORDING correspondem a áudio de 2 canais e não de 4 canais. Não é possível gravar o som dos canais posteriores esquerdo e direito como se fossem canais discretos.

### Especificações

| | |
|---|---|
| Tipo | Sistema estéreo MS (Mid-Side) |
| Resposta em frequência | 150 - 10.000 Hz |
| Padrão de captação do som | frontal 90°, posterior 120° (consulte a ilustração **D**) |
| Temperatura de funcionamento | 0 °C a 40 °C |
| Temperatura de armazenamento | –10 °C a 60 °C |
| Dimensões | Aprox. 66 mm × 30 mm × 72 mm (excluindo as peças salientes) |
| Peso | Aprox. 50 g |
| Itens incluídos | Microfone de surround (1), Protecção contra o vento (1), Bolsa de transporte (1), Documentos impressos |

O design e as especificações estão sujeitos a alterações sem aviso prévio.

Active Interface Shoe
Esta marca indica a utilização do sistema Active Interface Shoe com produtos de vídeo da Sony. Os acessórios e componentes de vídeo deste sistema destinam-se a simplificar a gravação eficiente.

## Русский

Перед началом эксплуатации этого устройства внимательно ознакомьтесь с данной инструкцией и храните ее под рукой на случай, если она вам понадобится.

### Характеристики

Этот микрофон предназначен для использования совместно с видеокамерой, оснащенной держателем для установки принадлежностей. Подробные сведения см. в инструкциях по эксплуатации видеокамеры.

- Этот микрофон работает как микрофон объемного звучания (см. рисунок **A**-1), если он используется с видеокамерой, имеющей с 4-канальную дискретную стереозапись.
- Этот микрофон можно также использовать как 2-канальный стереофонический микрофон.
- Если видеокамера имеет функцию стереозаписи с широким звуковым полем, можно получить стереозапись с более глубоким звучанием (см. рисунок **A**-2).

### Меры предосторожности

- Микрофон - это очень чувствительное устройство. Не роняйте, не ударяйте и не допускайте сильных сотрясений микрофона.
- Не подвергайте микрофон воздействию высоких температур и влажности.
- Если микрофон находится рядом с громкоговорителями, может возникать эффект акустической обратной связи. В этом случае разместите микрофон подальше от громкоговорителей или уменьшите их громкость.
- При прикосновении к микрофону во время записи будет записан шум. Не прикасайтесь к микрофону, в особенности волосами, головным убором и т.д.

### Обозначение частей (см. рисунок **B**)

1 **Фиксатор**

2 **Разъем держателя (терминал)**

3 **Ветровой экран**
Прикрепляется к микрофону, чтобы уменьшить шум ветра, дыхания или резких звуков.

**Примечание**
Осторожно обращайтесь с ветровым экраном, так как искусственный мех является очень непрочным материалом. Не мойте ветровой экран в воде. Если ветровой экран намокнет, тщательно просушите его с помощью фена, установленного в режим среднего или умеренного нагрева (поток воздуха должен быть теплым, но не горячим для руки).

### Подсоединение микрофона (см. рисунок **C**)

1 Убедитесь, что фиксатор микрофона повернут против часовой стрелки (1) до упора (см. рисунок **C**-1).
2 Совместите стрелку в нижней части микрофона (2) со стрелкой на видеокамере (3) (см. рисунок **C**-1).
3 Вставьте разъем держателя (терминал) микрофона в отверстие видеокамеры (4), затем передвиньте микрофон в направлении, указанном стрелкой (3) (см. рисунок **C**-1).
4 Поверните фиксатор по часовой стрелке до щелчка (см. рисунок **C**-2).
5 Направьте переднюю часть микрофона на источник звука. Микрофон можно поворачивать более чем на 180 градусов (см. рисунок **C**-3).

### Снятие микрофона

1 Отверните фиксатор против часовой стрелки.
2 Нажмите на микрофон и передвиньте его в направлении, обратном направлению при установке.

**Примечание**
Если установка микрофона вызывает затруднение, поверните фиксатор против часовой стрелки до упора. Блокировка будет ослаблена.

### Использование микрофона

Имеющиеся режимы можно включить только на видеокамере. Подробные сведения см. в инструкциях по эксплуатации видеокамеры.

- **Режим 4CH MIC**
  Прием левого переднего, правого переднего, левого заднего, правого заднего звуковых сигналов в качестве четырех каналов. Этот режим полезен при создании дисков DVD с 5,1-канальным объемным звучанием для воспроизведения в системе домашнего кинотеатра (см. рисунок **A**-1).
- **Режим STEREO MIC**
  Прием левого переднего и правого переднего звуковых сигналов. Используйте этот режим, если требуется направить звук объекта для записи на двух каналах.
- **Режим ЗВУКОВОЙ СТЕРЕОЗАПИСИ С ШИРОКИМ ЗВУКОВЫМ ПОЛЕМ**
  Прием левого переднего, правого переднего, левого заднего, правого заднего звуковых сигналов и микширование до 2 каналов. Достигается более глубокий стереозвук (см. рисунок **A**-2).

**Примечание**
Звуки, записанные в режиме STEREO MIC и режиме ЗВУКОВОЙ СТЕРЕОЗАПИСИ С ШИРОКИМ ЗВУКОВЫМ ПОЛЕМ, являются 2-канальными, а не 4-канальными. Невозможно записать левый задний и правый задний звуковые сигналы в качестве дискретных каналов.

### Технические характеристики

| | |
|---|---|
| Тип | Стереосистема типа MS (Mid-Side) |
| Диапазон частот | 150 - 10000 Гц |
| Режим звукоснимателя | спереди 90°, сзади 120° (см. рис. **D**) |
| Рабочая температура | от 0°C до 40°C |
| Температура хранения | от –10°C до 60°C |
| Размеры | Прибл. 66 мм × 30 мм × 72 мм (не включая выступающие части) |
| Масса | Прибл. 50 г |
| Комплектность поставки | Микрофон объемного звучания (1), Ветровой экран (1), Пакет для переноски (1), Набор напечатанной документации |

Конструкция и характеристики могут изменяться без предварительного уведомления.

Active Interface Shoe
Эта метка указывает на то, что система держателя для установки принадлежностей может быть использована с видеооборудованием фирмы Sony. Видеоаппаратура и принадлежности, оснащенные этой системой, предназначены для того, чтобы вы могли легко создать эффектную запись.

Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 6-7-35 Киташинагава, Шинагава-ку, Токио 141-0001, Япония
Страна-производитель: Япония

## 中文（繁）

操作本裝置之前，請通讀本手冊並將其保留以備將來參考。

### 功能

本麥克風是專為配備有源接口熱靴的攝影機而設計。詳細說明，請參閱您攝影機的使用說明書。

- 配合符合環型 4 聲道音頻錄製的攝影機，本麥克風將作爲環繞聲麥克風使用（參見圖 **A**-1）。
- 本麥克風也可作爲 2 聲道立體聲麥克風使用。
- 配合符合寬頻立體聲錄音功能的攝影機，可以實現更具深度的立體聲錄音（參見圖 **A**-2）。

### 注意事項

- 此麥克風很容易損壞。切勿跌落、敲擊或受到強烈震動。
- 將麥克風遠離極端高溫或潮濕的地方。
- 如果麥克風放置於揚聲器旁，則可能產生嘯叫聲（聲學反饋）。如果發生此情況，請將麥克風放置在距揚聲器更遠處，或者降低揚聲器音量。
- 如果在錄音過程中接觸麥克風，則將錄下噪音。請小心，切勿接觸麥克風，特別是您的頭髮、頭飾等。

### 識別部件 （參見圖 **B**）

1 **鎖扣旋鈕**

2 **熱靴連接器（端子）**

3 **擋風罩**
罩在麥克風上，減少風或呼吸/突然爆起的噪音。

**註**
由於擋風罩的合成毛皮很容易損壞，請小心操作擋風罩。切勿用水清洗擋風罩。如果擋風罩被弄濕，請將吹風機設定至中等熱量（氣流在手上感到溫暖，不要感覺燙手）小心將其吹干。

### 安裝麥克風 （參見圖 **C**）

1 確保將麥克風的鎖扣旋鈕逆時針轉到底 (1)（參見圖 **C**-1）。
2 將麥克風底部箭頭方向 (2) 指向攝影機上的箭頭方向 (3)（參見圖 **C**-1）。
3 將麥克風的熱靴連接器（端子）插入攝影機上的插槽 (4)，然後按箭頭方向 (4) 滑動麥克風（參見圖 **C**-1）。
4 順時針轉動鎖扣旋鈕，直至鎖扣發出咔嗒聲（參見圖 **C**-2）。
5 將麥克風的正面指向對象。麥克風可以旋轉 180 度以上（參見圖 **C**-3）。

### 若要拆卸麥克風

1 逆時針方向鬆開鎖扣旋鈕。
2 向下按麥克風，並按照安裝時的相反方向滑動麥克風。

**註**
如果麥克風難以拆下，請將鎖扣旋鈕逆時針轉到底。鎖扣鬆開。

### 使用麥克風

只能在攝影機上切換可以使用的模式。詳細說明，請參閱您攝影機的使用說明書。

- **4CH MIC（4 聲道麥克風）模式**
  從左前、右前、左後和右後方拾取声音作为四个声道。此模式对于制作 5.1 声道环绕声 DVD，在家庭影院系统上播放非常有用（參見圖 **A**-1）。
- **STEREO MIC（立體聲麥克風）模式**
  從左前和右前方拾取聲音。當您想要以兩個聲道將一個對象作爲準確的聲音目標時使用此模式。
- **WIDE STEREO SOUND RECORDING（寬頻立體聲錄音）模式**
  從左前、右前、左後和右後方拾取聲音，並將這些聲音混合在 2 聲道內。將這到更有深度的立體聲（參見圖 **A**-2）。

**註**
以 STEREO MIC 模式和 WIDE STEREO SOUND RECORDING 模式錄製的聲音是 2 聲音音頻，不是 4 聲道音頻。左後和右後聲音不能作爲離散聲道錄製。

### 規格

| | |
|---|---|
| 類型 | MS（Mid-Side）立體聲系統 |
| 頻率響應 | 150 - 10000 Hz |
| 拾音模式 | 前 90°，後 120°（參見圖 **D**） |
| 操作溫度 | 0°C 至 40 °C |
| 存儲溫度 | –10°C 至60 °C |
| 尺寸 | 約 66 mm × 30 mm × 72 mm（不包括突出部位） |
| 重量 | 約 50 g |
| 所含物品 | 環繞聲麥克風（1），擋風罩（1），便攜袋（1），成套印刷文件 |

設計和規格如有改變，恕不另行通知。

Active Interface Shoe
此標誌表示配合 Sony 視頻產品使用的主動式介面熱靴系統。
本系統配備的視頻組件和附件是爲了有效的錄音更爲簡單。

## 中文（簡）

操作本装置之前，请通读本手册并将其保留以备将来参考。

### 功能

本麦克风是专为配备有源接口热靴的摄像机而设计。详细说明，请参阅您摄像机的使用说明书。

- 配合符合环绕 4 声道音频录制的摄像机，本麦克风将作为环绕声麦克风使用（参见图 **A**-1）。
- 本麦克风也可作为 2 声道立体声麦克风使用。
- 配合符合宽频立体声录音功能的摄像机，可以实现更具深度的立体声录音（参见图 **A**-2）。

### 注意事项

- 此麦克风很容易损坏。切勿跌落、敲击或受到强烈震动。
- 将麦克风远离极端高温或潮湿的地方。
- 如果麦克风放置于扬声器旁，则可能产生啸叫声（声学反馈）。如果发生此情况，请将麦克风放置在距扬声器更远处，或者降低扬声器音量。
- 如果在录音过程中接触麦克风，则将录下噪音。请小心，切勿接触麦克风，特别是您的头发、头饰等。

### 识别部件 （参见图 **B**）

1 **锁扣旋钮**

2 **热靴连接器（端子）**

3 **挡风罩**
罩在麦克风上，减少风或呼吸/突然响起的噪音。

**注**
由于挡风罩的合成毛皮很容易损坏，请小心操作挡风罩。切勿用水清洗挡风罩。如果挡风罩被弄湿，请将吹风机设定至中等热量（气流在手上感到温暖，不要感觉烫手）小心将其吹干。

### 安装麦克风 （参见图 **C**）

1 确保将麦克风的锁扣旋钮逆时针转到底 (1)（参见图 **C**-1）。
2 将麦克风底部箭头方向 (2) 指向摄像机上的箭头方向 (3)（参见图 **C**-1）。
3 将麦克风的热靴连接器（端子）插入摄像机上的插槽 (4)，然后按箭头方向 (4) 滑动麦克风（参见图 **C**-1）。
4 顺时针转动锁扣旋钮，直至锁扣发出咔嗒声（参见图 **C**-2）。
5 将麦克风的正面指向对象。麦克风可以旋转 180 度以上（参见图 **C**-3）。

### 若要拆卸麦克风

1 逆时针方向松开锁扣旋钮。
2 向下按麦克风，并按照安装时的相反方向滑动麦克风。

**注**
如果麦克风难以拆下，请将锁扣旋钮逆时针转到底。锁扣松开。

### 使用麦克风

只能在摄像机上切换可以使用的模式。详细说明，请参阅您摄像机的使用说明书。

- **4CH MIC（4 声道麦克风）模式**
  从左前、右前、左后和右后方拾取声音作为四个声道。此模式对于制作 5.1 声道环绕声 DVD，在家庭影院系统上播放非常有用（参见图 **A**-1）。
- **STEREO MIC（立体声麦克风）模式**
  从左前和右前方拾取声音。当您想要以两个声道将一个对象作为准确的声音目标时使用此模式。
- **WIDE STEREO SOUND RECORDING（宽频立体声录音）模式**
  从左前、右前、左后和右后方拾取声音，并将这些声音混合在 2 声道内。将这到更有深度的立体声（参见图 **A**-2）。

**注**
以 STEREO MIC 模式和 WIDE STEREO SOUND RECORDING 模式录制的声音是 2 声音音频，不是 4 声道音频。左后和右后声音不能作为离散声道录制。

### 规格

| | |
|---|---|
| 类型 | MS（Mid-Side）立体声系统 |
| 频率响应 | 150 - 10000 Hz |
| 拾音模式 | 前 90°，后 120°（参见图 **D**） |
| 操作温度 | 0°C 至 40 °C |
| 存储温度 | –10°C 至 60 °C |
| 尺寸 | 约 66 mm × 30 mm × 72 mm（不包括突出部位） |
| 重量 | 约 50 g |
| 所含物品 | 环绕声麦克风（1），挡风罩（1），便携袋（1），成套印刷文件 |

设计和规格如有改变，恕不另行通知。

Active Interface Shoe
此标志表示配合 Sony 视频产品使用的有源接口热靴系统。本系统配备的视频组件和附件是为了有效的录音更为简单。

## 한국어

제품을 사용하기 전에 본 사용설명서를 숙독하고 추후 참조를 위해 잘 보관하여 주십시오.

### 기능

본 마이크는 액티브 인터페이스 슈(Active Interface Shoe)가 장착된 캠코더에서 사용할 수 있도록 설계되었습니다. 자세한 내용은 캠코더의 사용설명서를 참조하십시오.

- 본 마이크를 별도의 4채널 오디오 녹음 포맷 캠코더와 사용하면 서라운드 마이크의 기능을 합니다(그림 **A**-1 참조).
- 본 마이크는 2채널 스테레오 마이크로도 사용할 수 있습니다.
- 와이드 스테레오 녹음 기능과 호환되는 캠코더에서 사용하면 스테레오 사운드를 보다 풍부하게 녹음할 수 있습니다(그림 **A**-2 참조).

### 사용상의 주의

- 본 마이크는 충격에 약합니다. 떨어뜨리거나 부드럽거나 심한 충격을 가하지 마십시오.
- 온도와 습도가 매우 높은 장소에 마이크를 보관하지 마십시오.
- 마이크가 스피커 옆에 있는 경우 피드백(소리의 되울림)이 발생할 수 있습니다. 이러한 경우 마이크를 스피커에서 최대한 멀리 두거나 스피커의 볼륨을 낮추십시오.
- 녹음 중에 마이크를 만지면 노이즈가 녹음될 수 있습니다. 특히 머리카락이나 옷 등이 마이크에 닿지 않도록 유의하십시오.

### 부품 확인 (그림 **B** 참조)

1 **잠금 노브**

2 **슈 커넥터(단자)**

3 **윈드 스크린**
마이크에 부착하면 바람 또는 숨소리/갑 노이즈를 줄일 수 있습니다.

**주의점**
윈드 스크린에 사용된 합성모는 매우 섬세하므로 윈드 스크린을 주의해서 다루어 주십시오. 윈드 스크린을 물로 닦지 마십시오. 윈드 스크린이 젖으면 드라이기를 중간 열로 설정하여 조심스럽게 말리십시오(드거운 바람이 아니라 따뜻한 바람으로 말려야 합니다).

### 마이크 부착하기 (그림 **C** 참조)

1 마이크의 잠금 노브를 시계 반대 방향으로 완전히 돌리십시오 (3)(그림 **C**-1 참조).
2 마이크 바닥의 화살표 (2)가 캠코더의 화살표 방향 (3)으로 향하도록 하십시오 (그림 **C**-1 참조).
3 마이크의 슈 커넥터(단자)를 캠코더의 슈핫에 끼운 다음 (4) 마이크를 화살표 방향 (4)으로 미십시오(그림 **C**-1 참조).
4 딸깍 소리가 날 때까지 잠금 노브를 시계 방향으로 돌리십시오(그림 **C**-2 참조).
5 마이크 앞면이 피사체를 향하도록 하십시오. 본 마이크는 180도 이상 회전할 수(그림 **C**-3 참조).

### 마이크를 분리하려면

1 잠금 노브를 시계 반대 방향으로 돌려 분리하십시오.
2 마이크를 돌려 부착 시와 반대 방향으로 미십시오.

**주의점**
마이크를 부착하는 것이 어려우면 더 이상 돌려지지 않을 때까지 잠금 노브를 시계 반대 방향으로 돌리십시오. 잠금 노브가 분리됩니다.

### 마이크 사용하기

사용 가능한 모드는 캠코더에서만 전환할 수 있습니다. 자세한 내용은 캠코더의 사용설명서를 참조하십시오.

- **4CH MIC 모드**
  전면 왼쪽, 전면 오른쪽, 후면 왼쪽, 후면 오른쪽의 4개의 채널에서 사운드를 픽업합니다. 이 모드는 홈 시어터 시스템에서 재생되는 5.1채널의 서라운드 DVD를 만들 때 유용합니다(그림 **A**-1 참조).
- **STEREO MIC 모드**
  전면 왼쪽 및 오른쪽에서 사운드를 픽업합니다. 양방향 채널에서 피사체의 사운드를 있는 그대로 재현하고자 할 때 유용합니다.
- **WIDE STEREO SOUND RECORDING 모드**
  전면 왼쪽, 전면 오른쪽, 후면 왼쪽, 후면 오른쪽에서 사운드를 픽업하여 2채널로 혼합합니다. 스테레오 사운드가 보다 풍부해집니다(그림 **A**-2 참조).

**주의점**
STEREO MIC 모드와 WIDE STEREO SOUND RECORDING 모드에서 녹음된 사운드는 4채널 오디오가 아닌 2채널 오디오입니다. 후면 왼쪽 및 오른쪽 사운드는 별개의 채널로 녹음할 수 없습니다.

### 사양

| | |
|---|---|
| 종류 | MS(Mid-Side) 스테레오 방식 |
| 주파수 응답 | 150 - 10,000 Hz |
| 픽업 패턴 | 전면 90°, 후면 120°(그림 **D** 참조) |
| 작동 온도 | 0°C에서 40°C |
| 보관 온도 | -10°C 에서 60°C |
| 크기 | 약 66 mm × 30 mm × 72 mm(튀어 나온 부분 제외) |
| 중량 | 약 50 g |
| 동봉품 | 서라운드 마이크(1), 윈드 스크린(1), 휴대 주머니(1), 도큐먼트 세트 |

디자인 및 주요 제원은 사전 통보 없이 변경될 수 있습니다.

Active Interface Shoe
이 마크는 Sony 비디오 제품에 이용할 수 있는 액티브 인터페이스 슈 시스템을 나타내고 있습니다. 이 시스템을 갖춘 비디오 및 포토닉브와 액세서리는 간단하고 효과적인 촬영 및 녹음이 가능하도록 설계되었습니다.

## عربي

قبل تشغيل هذه الوحدة، يرجى قراءة هذا الدليل بعناية والاحتفاظ به كمرجع في المستقبل.

### الخصائص المميزة

هذا الميكروفون مصمم للاستعمال مع كاميرا مسجلة مجهّزة بقاعدة التوصيل الشغلة. لمعرفة التفاصيل، راجع تعليمات التشغيل الخاصة بكاميرتك المسجلة.

- مع الكاميرات المسجلة التي تحتوي على خصائص تسجيل صوت أربع قنوات منفصلة يعمل هذا الميكروفون كميكروفون إحاطة (راجع الشكل التوضيحي **A**-1).
- يمكن أيضًا استعمال هذا الميكروفون كميكروفون ستيريو ثنائي.
- مع الكاميرات المسجلة المتوافقة مع وظيفة تسجيل المنتشر العريض يمكن تسجيل صوت ستيريو بعمق أكبر (راجع الشكل التوضيحي **A**-2).

### تنبيهات إحتياطية

- الميكروفون شديد الحساسية. لا تتسبب في سقوطه أو عرّضه لأي تعريضة لصدمة قوية.
- إحتفظ بالميكروفون بعيدًا عن درجات الحرارة العالية الزائدة والرطوبة.
- إذا تم وضع الميكروفون قرب السماعات، فقد يصدر صوت صفير (تغذية رجعية صوتية). إذا حدث ذلك، ضع الميكروفون أبعد ما يمكن عن السماعات أو قم بخفض مستوى صوت السماعة.
- إذا لمست الميكروفون أثناء التسجيل فسيتم تسجيل ضوضاء. إحرص على عدم لمس الميكروفون وخاصة بواسطة شعرك أو قطاء رأسك الخ.

### التعريف بالأجزاء (راجع الشكل التوضيحي **B**)

1 **زر القفل**

2 **موصل القاعدة (طرف توصيل)**

3 **شاشة الريح**
ضعه على الميكروفون لتخفيف ضوضاء الريح أو التنفس/ الطقطقة.

**ملحوظة**
قم بالتعامل مع شاشة الريح بعناية حيث أن مادة الفرو الاصطناعية قابلة للإتحزاء بسهولة. لا تقم بغسل شاشة الريح بالماء. إذا أصبحت شاشة الريح بالبلل، قم بتجفيفها بعناية باستعمال مجفف هواء مضبوط على وضع الحرارة المتوسط أو الدنائي (يجب أن يكون دفئ الهواء دافئا على يديك، وليس حارًا).

### تركيب الميكروفون (راجع الشكل التوضيحي **C**)

1 تأكد من إدارة زر قفل الميكروفون بعكس اتجاه عقارب الساعة بالكامل (1) (راجع الشكل التوضيحي **C**-1).
2 اجعل السهم الموجود بأسفل الميكروفون (2) متجهًا نحو السهم الموجود على كاميرتك المسجلة (3) (راجع الشكل التوضيحي **C**-1).
3 أدخل موصل القاعدة (طرف التوصيل) الخاص بالميكروفون في الفتحة (4) على كاميرتك المسجلة ثم اسحب الميكروفون في اتجاه السهم (4) (راجع الشكل التوضيحي **C**-1).
4 أدر زر القفل باتجاه عقارب الساعة (راجع الشكل التوضيحي **C**-2) حتى تسمع طقطقة.
5 وجّه مقدمة الميكروفون نحو الهدف. يمكن إدارة الميكروفون أكثر من ١٨٠ درجة (راجع الشكل التوضيحي **C**-3).

### لنزع الميكروفون

1 قم بإدارة زر القفل بعكس اتجاه عقارب الساعة.
2 إضغط الميكروفون إلى أسفل واسحبه في الاتجاه المعاكس لاتجاه التركيب.

**ملحوظة**
إذا كان من الصعب تركيب الميكروفون، أدر زر القفل بعكس اتجاه عقارب الساعة الى أن يتوقف. يتم تحرير القفل.

### إستعمال الميكروفون

يمكن استعمال الأوضاع المتاحة على الكاميرا المسجلة. لمعرفة التفاصيل، راجع تعليمات تشغيل كاميرتك المسجلة.

- **وضع 4CH MIC**
  يلتقط الأصوات من الإتجاهات الأمامي الأيسر والأمامي الأيمن والخلفي الأيسر والخلفي الأيمن كأربع قنوات. هذا الوضع يفيد في إنشاء اسطوانات DVD بصوت إحاطة ذي 5.1 قناة معروضة على أنظمة المسرح المنزلي أو أنظمة الترفيه (راجع الشكل التوضيحي **A**-1).
- **الوضع STEREO MIC**
  يلتقط الصوت من الإتجاهين الأمامي الأيسر والأمامي الأيمن. إستعمل هذا الوضع عندما تريد استهداف صوت هدف ما بدقة في قناتين.
- **الوضع WIDE STEREO SOUND RECORDING**
  يلتقط الأصوات من الإتجاهات الأمامي الأيسر والأمامي الأيمن والخلفي الأيسر والخلفي الأيمن ويمزجها تلقائيًا الى قناتين فقط. بذلك تحصل على صوت ستيريو أكثر عمقًا (راجع الشكل التوضيحي **A**-2).

**ملحوظة**
الأصوات المسجلة في الوضع STEREO MIC والوضع WIDE STEREO SOUND RECORDING هي أصوات ثنائية القنوات وليست رباعية القنوات. لا يمكن تسجيل صوت القنوات الخلفية اليسرى والخلفية اليمنى كقنوات منفصلتين.

### المواصفات

| | |
|---|---|
| النوع | نظام ستيريو (جانب متوسط) طراز MS |
| استجابة التردد | ١٥٠ - ١٠٠٠٠ هرتز |
| نمط الإلتقاط | أمامي ٩٠°، خلفي ١٢٠° (راجع الرسم التوضيحي **D**) |
| درجة حرارة التشغيل | صفر° إلى ٤٠° م |
| درجة حرارة التخزين | -١٠° إلى ٦٠° م |
| الأبعاد | تقريبًا ٦٦ مم × ٣٠ مم × ٧٢ مم (باستثناء الأجزاء البارزة) |
| الكتلة | ٥٠ جم تقريبًا (مع البطارية) |
| البنود المضمنة | ميكروفون بصوت إحاطة (١)، شاشة الريح (١)، جراب حمل (١)، طقم من وثائق مطبوعة |

التصميم والمواصفات عرضة للتغيير دون إشعار.

Active Interface Shoe
هذه العلامة تشير الى نظام قاعدة الكاميرات الذكية المتصل مع منتجات سوني، مكونات الفيديو والكاميرات المجهزة بهذا النظام مصممة لجعل التسجيل الفعال بسيطًا.